

# 平成25年度「キッズISO14000プログラム」アンケート結果

## ★★★ 先生方からの回答 ★★★

【H26.5.1現在 8校】

Q1 今回実施した学年に、このプログラムの内容は適当でしたか。

	小学校5年生 回答数 5人		小学校6年生 回答数 4人		中学校1年生 回答数 2人		中学校2年生 回答数 1人		合計 回答数 12人	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 適していた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 おおむね適していた	2	40.0%	3	75.0%	2	100.0%	1	100.0%	8	66.7%
3 あまり適当でない(難しすぎる)	2	40.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%
あまり適当でない(簡単すぎる)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 適当でない(難しすぎる)	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
適当でない(簡単すぎる)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

Q2 このプログラムを実施して、全体的にどう思いましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 良かった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 おおむね良かった	2	40.0%	3	75.0%	2	100.0%	1	100.0%	8	66.7%
3 あまり良くなかった	2	40.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%
4 良くなかった	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%

\* 詳しい内容は、別紙「コメント」を御参照ください。

Q3 このプログラムを実施する際に、指導に当たって考慮、工夫した点がありましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 ない	2	40.0%	3	75.0%	1	50.0%	0	0.0%	6	50.0%
2 ある	3	60.0%	1	25.0%	1	50.0%	1	100.0%	6	50.0%

\* 詳しい内容は、別紙「コメント」を御参照ください。

Q4 プログラムに取り組んだ児童・生徒について、学校や家庭での環境配慮行動が向上したとの実感や、保護者からの情報等がありましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 ない	2	40.0%	3	75.0%	1	50.0%	0	0.0%	6	50.0%
2 ある	3	60.0%	1	25.0%	1	50.0%	1	100.0%	6	50.0%

\* 詳しい内容は、別紙「コメント」を御参照ください。

各設問に対する、先生方のコメントです。 ※原文のまま記載しています。

【H26.5.1現在 8校】

Q2 このプログラムを実施して、全体的にどう思いましたか。

〈良かった点〉

- ・ 家庭を巻き込んだ環境学習となったので、保護者の意識が多少なりとも高まったように思う。
- ・ エコについて関心が高まった。
- ・ 環境への意識が高まった。
- ・ 生徒が環境問題を身近な体験から考えるきっかけとなっていた。
- ・ 環境問題に意識を向けることができた。
- ・ 保護者も参加して環境について考える点。

担当学年

小6  
小6  
小5  
中1、2  
中1  
小6

〈良くなかった点〉

- ・ 活動を要求する内容が多すぎる。小学校段階では、2項目が限度と思う。焦点化について作戦を考え、実践する態度を養わせたいと思う。
- ・ 家庭により取組の差が大きかった。
- ・ 未習事項の要素が多い。
- ・ 太陽光パネル設置の家庭など、家庭によってエネルギー事情が違い、測定方法が多岐にわたり、大変であった。
- ・ 保護者の協力なしでは無理な内容。
- ・ 5年生の実態、家庭環境に合っていないように思います。また、冬に実施してしまったために、雪等のため、測定しにくく、できないものもあった。

小5  
小6  
小5  
小5  
小5  
小5

〈改善意見・提案等〉

- ・ 内容が盛りだくさんすぎて、全てやるのは難しい。
- ・ 環境教育はとても大切だと思う。しかし、このプログラムは子どもの実態、家庭の実態と合っていない。

小6  
小5

Q3 このプログラムを実施する際に、指導に当たって考慮、工夫した点がありましたか。

〈ある〉

- ・ 保護者に全面的に協力をお願いした。
- ・ 生徒によっては、それぞれの事情で出来るプログラムと出来ないプログラムがあると感じたので、「可能な限り頑張ってみよう」と声をかけた。
- ・ 水道とガスについては、実施ができない家(オール電化)や難しい家(水道メーターの見づらい所にある)などのため、フリー都市、電気とごみは必ずやろうということにしました。
- ・ 学校便り等で家庭に呼びかけて実践していけるようにしました。
- ・ アパート等の集合住宅の場合、検針する場所に鍵がかかり、確かめられない例が多く苦慮した。
- ・ メーターはマンションの子には、調べる手段がなく難しい。

担当学年

小5  
中1、2  
小5  
小5  
小5  
小6

Q4 このプログラムに取り組んだ児童・生徒について、学校や家庭での環境配慮行動が向上したとの実感や、保護者からの情報等がありましたか。

〈ある〉

- ・ 全校でISO活動に以前から取り組んでおり、今回のプログラムを通して、環境への意識がより高まったように感じる。
- ・ アンケートや保護者の感想の中に、「やってみることで、はじめて実感できたことがたくさんあった」と書かれていた。
- ・ 家族の協力も得られて、今もやっているとの家も多かったです。意識が高まったと言えます。
- ・ 保護者が職場で取り組んでいきたいと言っていたのを聞いた。
- ・ 子どもたちは少し気をつけるようになったと言っていたので、効果はあったかと思えます。冬休み前にエコライフレポートという取組もあったので、あまり差がなかったのではと思います。

担当学年

小5  
中1、2  
小5  
小6  
小5